

# 観光の知名度を生かした 地域ブランドの確立に向けて

## 登別のブランド力を生かすために

国際観光レクリエーション都市として年間350万人以上の観光客が訪れる登別市は、豊富な湯量や多量の泉質を誇る登別温泉と、山間にある静かなカルルス温泉を中心に、海・山の自然に恵まれた北海道を代表する観光地です。また、自治体のブランド力を評価するために全国1千の市区町村を対象として平成18年から毎年行われている『地域ブランド調査』（株）ブランド総合研究所実施）の結果によると、登別市は毎年おおよそ30位から40位までの間に位置しており、全国的にもブランド力の高い自治体といえます。

これまで、そのブランド力を生かすこととした商品はいくつも販売されてきましたが、個別の店舗で単発的に商品化したものがほとんどであり、地域をあげての取り組みが少なく宣伝効果も低かったことから、登別のブランド力を効果的に生かしている状況が続いていました。

登別市には以前から、豊かな自然

から生み出される質の高い特産品がたくさんあります。それらを観光都市・登別や登別温泉のイメージと結びつけ、特産品に対する信頼や知名度を高めるとともに、登別のイメージを向上させ、地域経済の活性化を図るため、登別ブランドづくりを始めました。

## 登別ブランド推奨品の誕生

平成21年、『登別ブランド推奨制度』創設に向けて、市と登別商工会議所、登別観光協会で協議を行い、同年、まちづくりや産業振興を行う団体などから推薦を受けた方や市職員からなる『登別ブランド推進協議会』を設立しました。

平成22年には、『登別ブランド推奨品』へ、8事業者から15品の応募があり、審査委員による審査の結果、設立後初となる『登別ブランド推奨品』が10品誕生しました。

その後も、毎年申し込みを受け審査を行い、平成26年度までに計23品の特産品が同推奨品の認定を受けています。

## 登別ブランド推奨品の普及とPR

これらの推奨品は市内の取扱店で毎年販売されているほか、登別温泉のホテル売店でも販売されており、お土産として人気があります。

また、平成22年から、夏・冬の年2回、『登別ブランド推奨品』などの詰め合わせである『夏ギフト』、『冬ギフト』の販売が行われていました。お中元やお歳暮などに利用されているほか、お土産などとしても人気があり、毎年販売を求める声もあります。

さらに、市内での販売に限らず、市外のイベントなどでも積極的にPRしています。札幌市の『さっぽろオースタムフェスト』をはじめ、宮城県白石市の『白石市農業祭』や東京都福生市の『福生七夕まつり』などで出展してきたほか、神奈川県海老



▲ことしの夏に販売された『登別ブランド推奨品詰め合せ夏ギフト』のリーフレット

名市の『えびくやハウス』で毎年販売されています。

市の特産品がブランド化によって信頼性と知名度を向上させているのと同時に、その特産品を市内外で販売することにより登別市の食のPRにもつながっています。

## 登別の魅力のさらなる発信を

ことし4月16日から提供が開始された登別版ご当地グルメ『登別間魔やきそば』。『登別ブランド推奨品』とともに道内外の各種イベントで販売したところ、計1万食を超える焼きそばが食され、登別の魅力の向上につながっています。

平成28年には北海道新幹線の開業が予定されています。登別のさらなるPRに向けて、同協議会は、全国的に知名度のあるブランドを作り出すこと、取り組みを続けています。



▲道内外を問わず、さまざまなイベントで販売してきた（写真は、えびな市民まつり）